

令和3年度 決算報告書

国立大学法人名古屋工業大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,860	4,999	139	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	609	622	13	(注2)
うち補正予算による追加	-	-	-	
補助金等収入	538	562	23	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	20	-	
自己収入	3,478	3,581	102	
授業料、入学料及び検定料収入	3,256	3,243	△13	(注4)
雑収入	222	338	115	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,907	2,892	985	(注6)
目的積立金取崩	65	106	41	(注7)
計	11,480	12,785	1,305	
支出				
業務費	8,507	8,294	△213	
教育研究経費	8,507	8,294	△213	(注8)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	629	642	13	(注9)
補助金等	435	462	27	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,907	2,432	525	(注11)
長期借入金償還金	-	-	-	
計	11,480	11,832	352	
収入－支出	-	952	952	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因運営費交付金の交付及び授業料等免除予算の前年度からの繰越により、予算額に比して決算額が139百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金収入については、予算段階では予定していなかった事業の交付及び翌年度事業への繰越により、予算額に比して決算額が13百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、受入額の増により、予算額に比して決算額が23百万円多額となっています。また、本収入には、授業料等減免費交付金が99百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料については、主として予算段階では予定していなかった検定料収入の減収等により、予算額に比して決算額が13百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、特許権収入および受託試験料収入の増収等により、予算額に比して決算額が115百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究及び共同研究の受入れ増により、予算額に比して決算額が985百万円多額となっています。なお前期からの繰越額は338百万円となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、期中に承認を受けた剰余金の執行により、予算額に比して決算額が41百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、コロナ禍による海外渡航費用の減少等により、予算額に比して決算額が213百万円少額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が13百万円多額となっています。
- (注10) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が27百万円多額となっています。
- (注11) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が525百万円多額となっています。